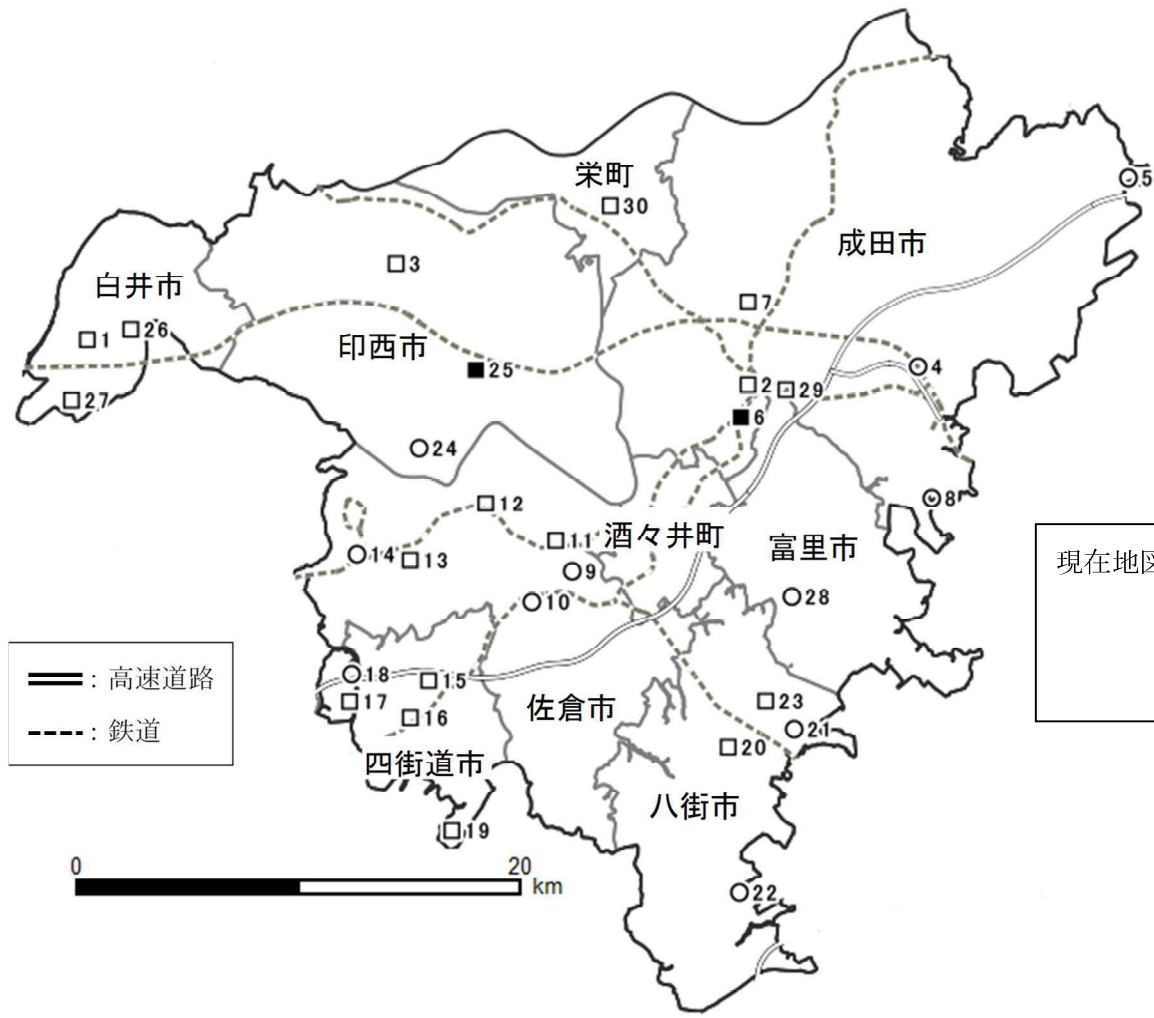


千葉県保健医療計画・地域編
印旛保健医療圏（素案）

第4章 印旛保健医療圏

■ 救命救急センター □ 救急告示病院 ○ その他の病院



- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 □ 白井聖仁会病院 | 16 □ 国立病院機構下志津病院 |
| 2 □ 成田富里徳洲会病院 | 17 □ 大日病院 |
| 3 □ 印西総合病院 | 18 ○ 四街道さくら病院 |
| 4 ○ 聖マリア記念病院 | 19 □ 四街道徳洲会病院 |
| 5 ○ 大栄病院 | 20 □ 海保病院 |
| 6 ■ 成田赤十字病院 | 21 ○ 長谷川病院 |
| 7 □ 成田病院 | 22 ○ 南八街病院 |
| 8 ○ 成田リハビリテーション病院 | 23 □ 八街総合病院 |
| 9 ○ 佐倉厚生園病院 | 24 ○ 西佐倉印西病院 |
| 10 ○ 佐倉整形外科病院 | 25 ■ 日本医科大学千葉北総病院 |
| 11 □ 佐倉中央病院 | 26 □ 千葉白井病院 |
| 12 □ 聖隷佐倉市民病院 | 27 □ 北総白井病院 |
| 13 □ 東邦大学医療センター佐倉病院 | 28 ○ 中沢病院 |
| 14 ○ 南ヶ丘病院 | 29 □ 日吉台病院 |
| 15 □ 栗山中央病院 | 30 □ 北総栄病院 |

平成29年10月10日現在の開設許可等の状況に基づき県健康福祉政策課作成

第1節 圏域の現状

1 基本的事項

		圏 域	全 県	
構成市町村数		7市2町	37市16町1村	
面 積 (対全県比)		691.66km ² (13.4%)	5156.74km ²	
人 口 (人)	総 人 口 (対全県比)	718,337 (11.4%)	6,284,480	
	構 成 等	0~14歳	88,573	734,496
		15~64歳	418,184	3,715,691
		65歳~	203,814	1,699,991
		高齢化率	28.7%	27.6%
		75歳以上	94,760	859,767
		75歳以上の割合	13.3%	14.0%

資料：全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院、令和5年4月1日現在）
 国勢調査（総務省、令和2年10月1日現在）

注：高齢化率、75歳以上の割合は、年齢不詳を除く総人口に占める割合

2 人口動態等

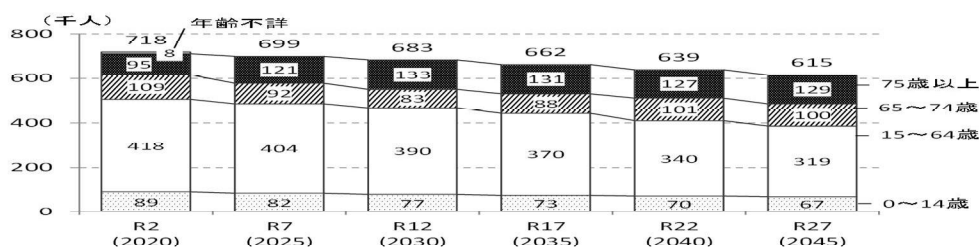
(1) 人口動態

	圏 域 (人)	全 県 (人)
出生数 (人口千対)	4,086 (5.7)	38,426 (6.1)
死亡数 (人口千対)	6,948 (9.7)	65,244 (10.4)
乳児死亡数 (出生千対)	15 (3.7)	79 (2.1)
死産数 (出産千対)	70 (16.8)	744 (19.0)
周産期死亡数 (出産千対)	16 (3.9)	128 (3.3)

資料：動態発生数—令和3年人口動態統計（厚生労働省）
 人口—毎月常住人口調査月報（千葉県、令和3年10月1日現在）

(2) 人口の推移、将来推計人口

図表 印旛区域の人口の推移



「令和2年国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）をもとに作成

総人口は減少に向かいますが、75歳以上人口は、令和2年から令和12年にかけて40%・38千人増加すると見込まれます。

3 疾病状況（主な死因別死亡数）

	圏域（人）		全県（人）	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対
悪性新生物	1,999	279.3	17,808	283.7
心疾患	1,109	154.9	10,167	161.9
肺炎	446	62.3	3,636	57.9
脳血管疾患	485	67.8	4,667	74.3

資料：動態発生数—令和3年人口動態統計（厚生労働省）
人口—毎月常住人口調査月報（千葉県、令和3年10月1日現在）

4 患者動向

圏域内の住民が入院している 医療機関の所在地（医療圏別）		圏域内の医療機関へ入院している 患者の所在地（医療圏別）	
印旛保健医療圏	71.0%	印旛保健医療圏	64.2%
東葛南部保健医療圏	9.5%	東葛南部保健医療圏	8.7%
千葉保健医療圏	9.3%	県外	6.6%
県外	4.3%	千葉保健医療圏	6.5%
その他	5.9%	その他	14.0%

資料：平成29年度患者調査の特別集計結果（厚生労働省作成）を元に集計。

※患者調査は抽出調査であり、抽出調査では推計誤差が発生するが、一般的に集計対象（データ数）が少なくなるほど推計誤差は大きくなるため、上記はあくまで参考値である。

5 外来医療の現状

(1) 地域における外来医療の概況

印旛医療圏の外来医師偏在指標は全国335医療圏中297位・県内9医療圏中8位であり、診療所における外来医療のニーズに対して、診療所医師が少ない地域です。

東葛南部医療圏との間で患者の流出入があるほか、千葉医療圏及び県外への流出があり、外来診療全体では1日あたり1,800人程度の流出超過と推計されます。

一般診療所に勤務する医師について、一般的な疾病の診療に当たる診療科のうち、他の診療科では代替が難しいと考えられる皮膚科、精神科、眼科、耳鼻科の人口10万人当たりの医師数は、皮膚科は県内平均と同程度である一方、精神科、眼科、耳鼻科においては下回っており、特に精神科は県内平均の2分の1以下と少ない状況です。

医療圏内には紹介受診重点外来を地域で基幹的に担う紹介受診重点医療機関が5施設立地しています（令和5年8月1日現在）。

図表 外来医師偏在指標等の状況

印旛保健医療圏	
圏域内人口	730千人
外来医師偏在指標	77.5
偏在指標全国平均値	112.2
偏在指標全国順位(335圏域)	297位
偏在指標県内平均値	88.6
偏在指標県内順位(9圏域)	8位

図表 印旛医療圏の外来医療に係る流出入状況

【医療圏内の居住地ベース推計外来患者数：29.2千人/日】

	千葉	東葛南部	東葛北部	印旛	香取海匝	山武長生 夷隅	安房	君津	市原	県外	計
圏域内への流入	0.7	1.3	0.2	—	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	3.8
圏域外への流出	1.7	1.8	0.6	—	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	5.6
差引	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 0.3	—	0.3	0.3	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.6	▲ 1.8

資料：平成29年度患者調査とNDBデータをもとに厚生労働省が算出
対象は病院及び一般診療所単位は千人/日

図表 主たる診療科別の一般診療所従事医師数

(単位：人)

内科	136	感染症内科		肛門外科		リハビリテーション科	1
呼吸器内科	3	小児科	30	脳神経外科	1	放射線科	2
循環器内科	4	精神科	8	整形外科	30	麻酔科	
消化器内科 (胃腸内科)	11	心療内科		形成外科	2	病理診断科	
腎臓内科	2	外科	9	美容外科		臨床検査科	
脳神経内科	1	呼吸器外科		眼科	33	救急科	1
糖尿病内科 (代謝内科)	4	心臓血管外科		耳鼻いんこう科	21	臨床研修医	
血液内科		乳腺外科		小児外科		全科	
皮膚科	26	気管食道外科		産婦人科	21	その他	3
アレルギー科		消化器外科 (胃腸外科)	3	産科		主たる診療科不詳	
リウマチ科		泌尿器科	9	婦人科	3	診療科不詳	7
皮膚科/人口10万	3.6	精神科/人口10万	1.1	眼科/人口10万	4.5	耳鼻科/人口10万	2.9
〃県内平均	3.6	〃県内平均	2.5	〃県内平均	5.4	〃県内平均	3.1

資料：「令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査」（厚生労働省）

図表 医療圏内に位置する紹介受診重点医療機関一覧（令和5年8月1日時点）

No.	医療機関名	基準 (%)		参考水準 (%)		一般病床数 (床)	備考
		「初診」のうち、 重点外来の割合	「再診」のうち、 重点外来の割合	紹介率	逆紹介率		
1	日本医科大学千葉北総病院	51.1	26.4	46.9	86.1	574	地域医療支援病院
2	東邦大学医療センター佐倉病院	73.1	25.4	83.7	96.6	405	地域医療支援病院
3	聖隷佐倉市民病院	46.0	36.9	38.6	39.0	377	
4	成田赤十字病院	59.7	27.3	62.3	66.2	653	地域医療支援病院
5	国際医療福祉大学成田病院	45.8	28.0	44.0	21.6	573	

資料：令和5年度第1回印旛地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 とりまとめ

(2) 外来医療機能ごとの現況

ア 通院外来医療

一般診療所数は408か所、一般診療所で診療に従事する医師は371人で、外来患者延数に占める診療所の受診割合は71.3%と、全国及び県内平均を下回っています。医療圏内の診療所からは、特に精神疾患に係る外来診療体制について不足感が強い状況です。

イ 初期救急医療

初期救急医療については、成田市・佐倉市・四街道市の3か所に夜間休日診療所が設置され、地区医師会や地域の病院に所属する医師が夜間の初期救急医療を提供しているほか、佐倉市には医療圏内全域を対象とする小児初期救急診療所が併設され、休日日中と毎日夜間の小児初期救急を担う先進的な体制が構築されています。時間外等外来患者延数に占める診療所の受診割合は87.4%と全国及び県内平均を上回っています。

ウ 在宅医療

在宅医療については、在宅療養支援診療所（令和元年10月1日時点で33か所・うち機能強化型14か所）のほか、地域の診療所・病院により提供されています。

エ 公衆衛生（学校医・産業医・予防医療等）

公衆衛生機能については、主に地区医師会に所属する診療所や病院が市町から委託を受けて予防接種や健康診断、検診等を行っているほか、一般的な外来診療を行わない介護施設内診療所等でも入居者や職員向けに実施しています。医療圏内の診療所からは、予防接種の提供体制については比較的充足感が強い一方で、産業医についてはやや不足感が強い状況です。

図表 印旛医療圏における外来医療の概況

区分	病院	一般診療所	一般診療所 構成率	構成率の 全国平均	構成率の 千葉県平均
施設数	30	408			
医師数（人）	1,159	371			
外来患者延数（人/年）	1,991,716	4,949,539	71.3%	75.8%	73.8%
通院外来患者延数（人/年）	1,981,100	4,883,078	71.1%	75.6%	73.5%
時間外等外来患者延数（人/年）	31,140	216,688	87.4%	85.0%	85.6%
訪問診療患者延数（人/年）	10,089	59,376	85.5%	87.8%	89.7%

資料：施設数：平成29年度医療施設調査（厚生労働省）

医師数：平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

患者延数：令和元年度NDB（厚生労働省集計）

図表 外来医療機能ごとの過不足感

区分	がん	脳卒中	心血管	糖尿病	精神	認知症	初期救急
不足	19%	18%	18%	39%	39%	38%	41%
充足又は過剰	25%	24%	26%	11%	11%	12%	24%
区分	周産期	小児	在宅	予防接種	健診検診	学校保健	産業保健
不足	29%	28%	38%	16%	21%	26%	26%
充足又は過剰	11%	23%	10%	48%	33%	32%	10%

資料：令和元年度 千葉県保健医療計画改定に係る基礎調査 外来医療実態調査

医療圏内の診療所を対象とした「地域で不足していると感じる外来医療機能」の回答集計結果。

選択肢で「全く足りない」「やや足りない」を「不足」、「十分である」「過剰である」を「充足又は過剰」として算出。